

Ⅲ 特 別 会 計

競輪事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
競 輪 事 業	11,211,416,283	0	0	202,233,171	11,009,183,112

1 競輪開催事業費 2,843,159,719 円 (競輪事務所)

[総括]

昭和24年からスタートした競輪事業は、市民の身近な娯楽として親しまれているほか、公益財団法人JKAへの交付金等を通じて、機械工業の振興、体育事業をはじめとした公益の増進に寄与している。

平成25年度も既存のお客様満足度を高めるのみならず新規のお客様獲得に努めた。ハード面では、競輪場南側の屋外型投票所を冷暖房完備の屋内型投票所に改修するとともに、メインスタンド全てのトイレを洋式化するなど、高齢化しているお客様のニーズに応えるため施設改修を実施した。

また、ソフト面では、既存のホームページに加え豊橋競輪場や豊橋競輪場をホームバンクとする選手の情報発信を目的としたSNS（ブログ、ツイッター、フェイスブック）の運用を開始するとともに、ガールズケイリン育成プロジェクトを立ち上げるなど、新たな施策を実施した。

今年度、一般会計へ100,000,000円を繰り出し、財政調整基金へ利息588,232円を積み立てた。収支状況は、152,482,949円の黒字となり、999,080,448円を翌年度に繰り越すことができた。

[実績及び成果]

〔市営競輪開催実績〕(売上高) 10,774,078,300円

区 分	平成24年度			平成25年度			比 較	
	開催回数	普通競輪	11回	18節	普通競輪	11回	17節	0.0%
記念競輪		1	1	記念競輪	1	1	0.0	0.0
計		12	19	計	12	18	0.0	△ 5.3
開催日数	普通競輪	54日		普通競輪	51日		△ 5.6	
	記念競輪	4		記念競輪	4		0.0	
	計	58		計	55		△ 5.2	
入場者数	普通競輪	延 47,369人		普通競輪	延 40,735人		△14.0	
	記念競輪	延 8,411		記念競輪	延 7,529		△10.5	
	計	延 55,780		計	延 48,264		△13.5	
売上高	普通競輪	4,322,476,000円		普通競輪	4,802,026,800円		11.1	
	記念競輪	6,674,532,600		記念競輪	5,972,051,500		△10.5	
	計	10,997,008,600		計	10,774,078,300		△ 2.0	

(1) 施設整備費 62,776,558円

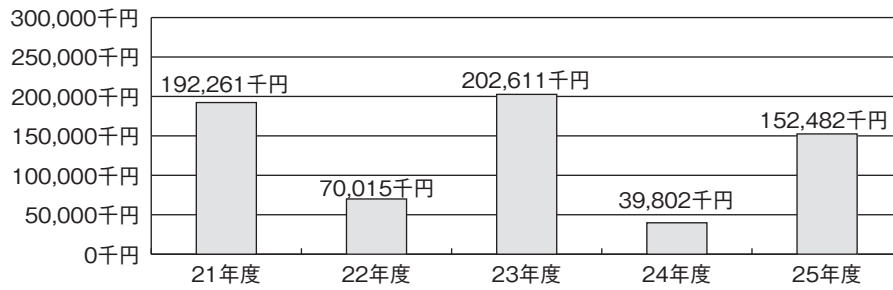
内 容	平成24年度	平成25年度
	競走路改修工事 場内整備工事 周辺整備工事	

[指 標]

指 標 名：単年度収支

指標説明：(歳入総額－歳出総額)－前年度繰越金

※利子以外の基金収入(基金繰入金)は歳入に含まず、一般会計繰出金並びに利子以外の基金積立金は歳出に含まない



国民健康保険事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
国民健康保険事業	33,793,153,190	8,776,765,326	0	12,853,130,790	12,163,257,074

1 国民健康保険給付事業費 22,289,265,763 円 (国保年金課) < 公的医療保険の安定運営・医療費の適正な給付・助成 > [総括]

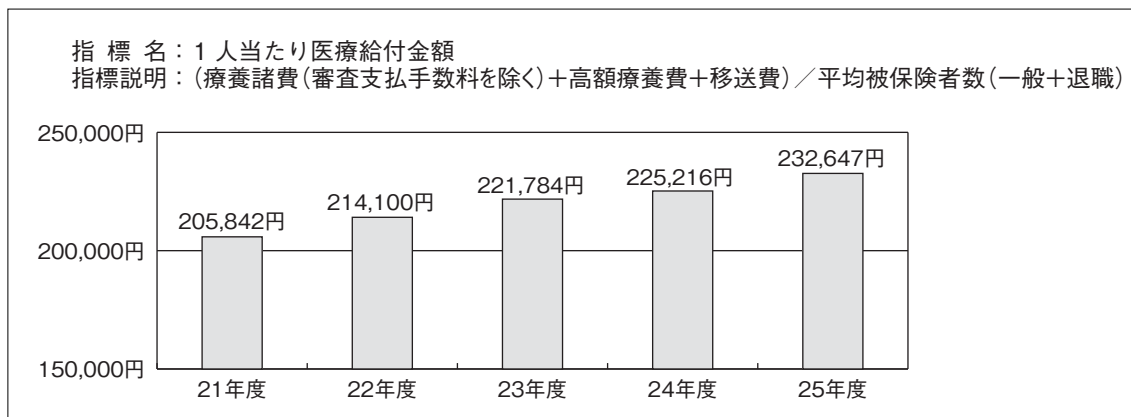
平成 25 年度は、少子化の影響等により被保険者数は減少したが、高齢化の進展、医療の高度化等により医療給付の金額は増加した。今後とも医療費の適正化に努め、国、県、国保連合会等関係機関と協力して適切な保険給付事業の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 保険給付費 22,289,265,763 円

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
医 療 給 付	1,427,563件	21,528,418,808円	1,426,618件	22,026,311,778円
出産育児一時金給付	466	195,985,330	448	187,498,540
葬 祭 費 給 付	471	23,550,000	465	23,250,000
審査支払手数料等	—	52,464,494	—	52,205,445
平均被保険者数	95,590人		94,677人	

[指 標]



2 国保税納税事務費 547,760 円 (納税課) < 公的医療保険の安定運営 >

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を目的として、効果的な啓発事業及び口座振替加入促進、的確迅速な収納整理、法に基づいた厳正な滞納整理に努めた。

[実績及び成果]

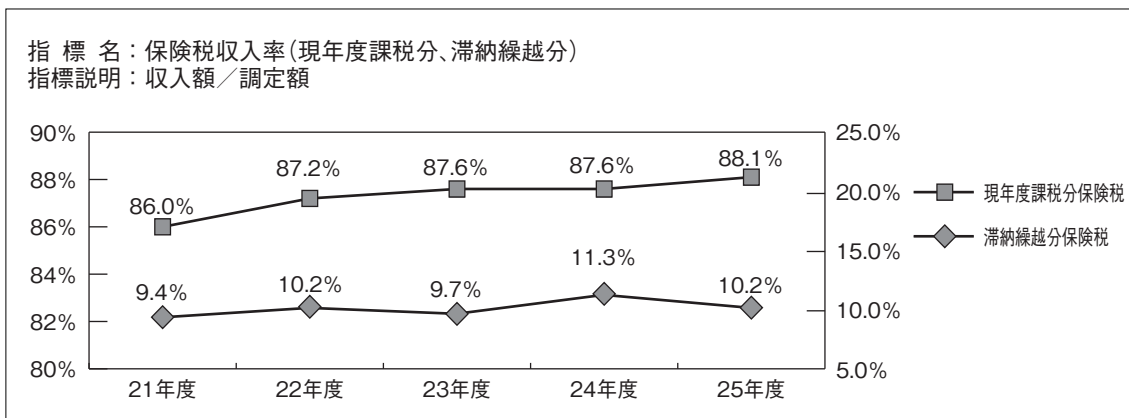
(1) 国保税収納整理事務費 407,860 円

現年度課税分保険税	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
	調 定 額	収 入 額	調 定 額	収 入 額
	10,192,463,000円	8,932,271,630円	9,681,242,100円	8,530,967,250円

(2) 国保税滞納整理事務費 139,900 円

滞納繰越分保険税	平成24年度		平成25年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	6,273,809,465円	711,697,727円	6,255,919,482円	637,465,519円

[指標]



3 収納率向上特別対策事業費 7,640,424 円 (国保年金課) < 公的医療保険の安定運営 >

[総括]

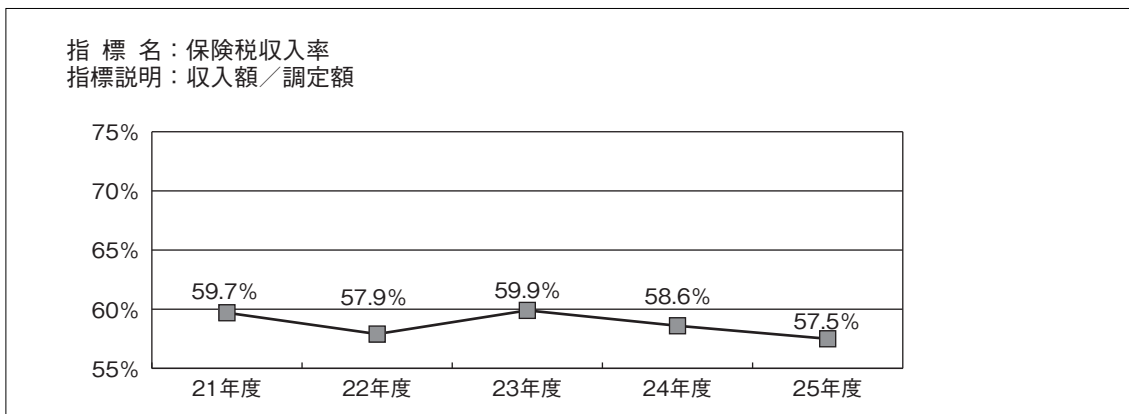
収納率向上の取組みとして、福祉部全課協力による新規滞納者への戸別訪問を強化した。また、通常の督促・催告業務、コールセンターを活用した電話催告、口座振替の勧奨、納期の周知等を実施し、納税意識の向上、早期の納付勧奨に努めた。今後もさまざまな方向から収納率の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 収納率向上特別対策事業費 7,640,424 円

区分	平成24年度		平成25年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
現年度課税分保険税	10,192,463,000円	8,932,271,630円	9,681,242,100円	8,530,967,250円
滞納繰越分保険税	6,273,809,465	711,697,727	6,255,919,482	637,465,519
国民健康保険税	16,466,272,465	9,643,969,357	15,937,161,582	9,168,432,769

[指標]



4 特定健康診査等事業費 194,053,961 円（健康増進課）＜疾病対策の推進＞

[総括]

特定健康診査では、受診率の向上に向け、多くの集客が見込まれるイベントでの啓発活動、メタボ川柳の募集、出前講座等を行った。特定保健指導では、受講しやすい保健指導の体制に努め、個別訪問や電話による受講勧奨を行った。今後も引き続き受診者数の増加などに努め、糖尿病等の生活習慣病予防に向けた保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 特定健康診査事業費 191,957,528 円

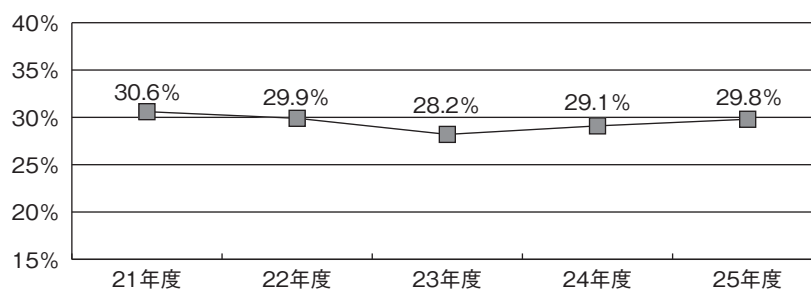
特定健康診査	平成24年度		平成25年度	
	受診券発送者数	受診者数	受診券発送者数	受診者数
	64,994人	18,935人	65,659人	19,551人

(2) 特定保健指導事業費 2,096,433 円

区分		平成24年度	平成25年度
初回面接 利用者数	動機付け支援	254人	204人
	積極的支援	47	53

[指標]

指標名：特定健康診査受診率
 指標説明：受診者数／受診券発送者数



総合動植物公園事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
総合動植物公園事業 <総合動植物公園の整備充実>	1,469,314,192	54,677,000	87,400,000	17,975,736	1,309,261,456

1 総合動植物公園管理運営事業費 540,228,167 円 (動植物公園)

[総括]

セグウェイガイドツアーや有料エサやり体験を開始するとともに、ナイトガーデンの開催エリアの拡大など従来イベントの魅力を高め、より一層の来園者サービス向上に努めた。また、平成26年2月に開催した動物園技術者研究会(26.2.18～2.20)では秋篠宮文仁親王殿下をお迎えするとともに、国内の動物園・水族館61園(館)から122名が参加し、動物飼育や繁殖技術の向上についての研究発表に加え本園の優位性をアピールすることができた。

年間入園者数については、夏の猛暑による減少はあったものの26年2月までは概ね前年度並みで推移してきたが、3月時の長雨と寒さの影響により最終的には2.5%の減少となった。

今後も効果的なプロモーション活動の展開やリニューアル事業の実施により100万人プロジェクトを積極的に推進していく。

[実績及び成果]

[動植物公園入園状況]

区 分	平成24年度	平成25年度	比 較
開 園 日 数	312日	310日	△ 0.6%
入 園 者 数	延 700,314人	延 682,461人	△ 2.5
動 物 の 展 示	148種	147種	△ 0.7
	811点	931点	14.8
植 物 の 展 示	2,525種	2,493種	△ 1.3
遊 具 設 置 数	12機	12機	0.0
遊 具 利 用 者 数	延 532,497人	延 518,736人	△ 2.6

[施設整備]

内 容	平成24年度	平成25年度
	シマウマ舎建具改修工事	なかよし広場公園施設及び遊具更新工事 キリン舎暖房設備設置工事 駐車場整備工事

- (1) 動物園管理運営事業費 199,231,988 円
- (2) 植物園管理運営事業費 95,451,912 円
- (3) 遊園地管理運営事業費 110,647,502 円
- (4) 施設営繕事業費 101,920,760 円
- (5) イベント企画運営事業費 32,976,005 円
- (ア) イベント開催費

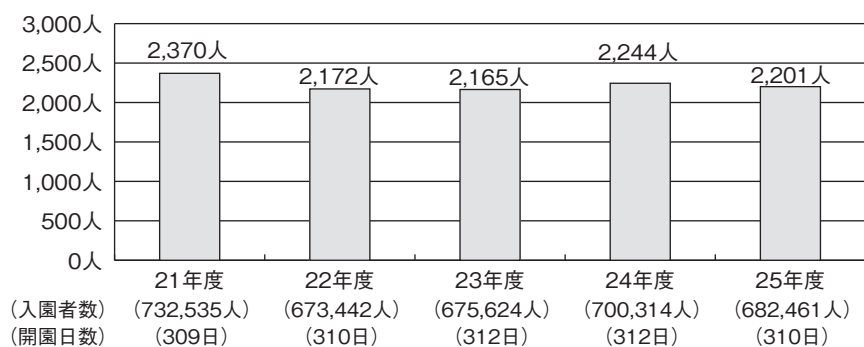
内 容	平成24年度	平成25年度
	ゴールデンウィークイベント(24.4.29～5.6・8日間) サマーイベント(24.7.22～8.26・36日間) ナイトガーデン(8月毎週土、日曜日・6日間) ※2日間雨天中止 秋のイベント(24.11.3～11.25・23日間) 新春イベント(25.1.2～1.6、13、20、27・8日間) 春のイベント(25.3.20～3.31・12日間)	ゴールデンウィークイベント(25.4.27～5.6・10日間) サマーイベント(25.7.21～8.31・42日間) ナイトガーデン(25.8.13～8.18・6日間連続開催) 秋のイベント(25.11.2～12.8・37日間) 新春イベント(26.1.2～1.5、12、19、26・7日間) 春のイベント(26.3.1～3.30・30日間)

(イ) シティプロモーション事業費

	平成24年度	平成25年度
内 容	<p>鉄道を利用した広域に向けたP R</p> <p>JR東京駅京葉通路大型ビジョン広告 (24.8.1～8.31・31日間)</p> <p>J・ADビジョン(65インチ10面) への30秒コマーシャル放映</p> <p>名古屋市営地下鉄中吊広告 (24.8.11～8.17・7日間)</p> <p>地下鉄全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出</p> <p>JR東海道本線中吊広告 (24.8.9～8.15・7日間)</p> <p>広告掲出区間を熱海まで延長し、 区間内の普通、快速全車両への中 吊ポスター(B3ワイド版)掲出</p> <p>金環日食体験イベント開催(24.5.21)</p> <p>入園者数1,500万人記念式典開催(24.6.3)</p> <p>ゾウシンポジウム開催(24.7.21)</p> <p>マール誕生会開催(24.9.17)</p> <p>マレーグマお披露目式開催(25.3.3)</p> <p>セグウェイお披露目式開催(25.3.23)</p> <p>市電「のんほいパーク号」へのラッピング 広告掲載(24.4.19～25.3.31・約11か月間)</p>	<p>鉄道を利用した広域に向けたP R</p> <p>JR品川駅中央改札内大型ビジョン広告 (25.8.1～8.31・31日間)</p> <p>J・ADビジョン(65インチ8面) への30秒コマーシャル放映</p> <p>名古屋市営地下鉄中吊広告 (25.8.10～8.16・7日間)</p> <p>地下鉄全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出</p> <p>JR東海道本線中吊広告 (25.8.10～8.16・7日間)</p> <p>東海道本線(米原～熱海)の普 通、快速全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出(静岡方面は 25.8.9～8.15・7日間)</p> <p>JR飯田線中吊広告 (25.8.10～8.16・7日間)</p> <p>飯田線全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出</p> <p>若年層を対象としたラジオCMの拡大 ZIP-FMでのラジオCM(20秒)放送 (25.7.29～8.10、25.11.5～11.15の間、計 39回)</p> <p>サービスエリアでのマイカー利用者へ のP R</p> <p>東名高速道路浜名湖サービスエリアで のポスター広告(B0版、B2版)掲出 (25.8.1～8.31・31日間)</p> <p>サービスエリアガイドへの広告掲載 (25.7.10発行)</p> <p>セグウェイガイドツアーの実施(25.6.8～)</p> <p>ナイトガーデンの拡充(開催エリア拡大等) (25.8.13～8.18・6日間連続開催)</p> <p>有料エサやり体験の実施(25.10.12～)</p>

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園 1 日当たりの入園者数
 指標説明：入園者数／開園日数



2 総合動植物公園リニューアル事業費 111,633,900 円（動植物公園）

[総 括]

リニューアル事業として、アジアゾウ舎・放飼場基本設計及びオランウータン舎等の実施設計を行うとともに、主園路の舗装等を実施し快適環境の整備に努めた。

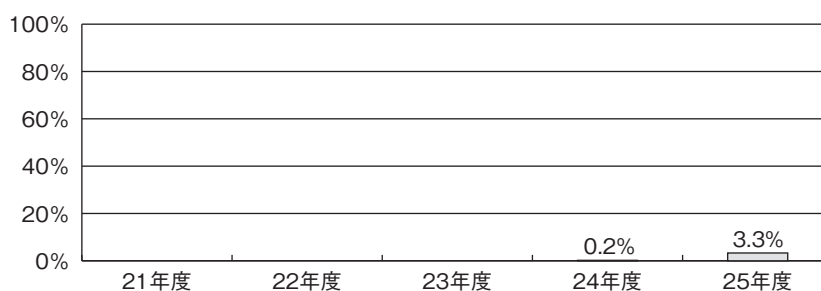
[実績及び成果]

(1) 総合動植物公園リニューアル事業費 111,633,900 円

内 容	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度
	アジアゾウ舎増築等工事 ダーナの獣舎新設及び放飼場拡張 マラーの放飼場整備 オランウータン舎等基本設計	

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園リニューアル事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成24年度～32年度)



公共駐車場事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公共駐車場事業 <生活道路の整備>	227,089,468	0	0	296,116	226,793,352

1 公共駐車場管理運営事業費 118,291,606 円 (土木管理課)

[総括]

中心市街地における駐車環境を整えることで、路上駐車解消や歩行者の交通安全確保を図っている。平成25年度は利用率を向上させるため、駅前第2公共駐車場で入庫後15分以内の出庫を無料としたほか、歩行者天国開催期間中の駐車料金値下げ、穂の国とよはし芸術劇場と連携した割引を行った。また、施設整備として駅前第1公共駐車場の出口精算機を更新した。今後も安全で快適な駐車場をめざし、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営を図っていく。

[実績及び成果]

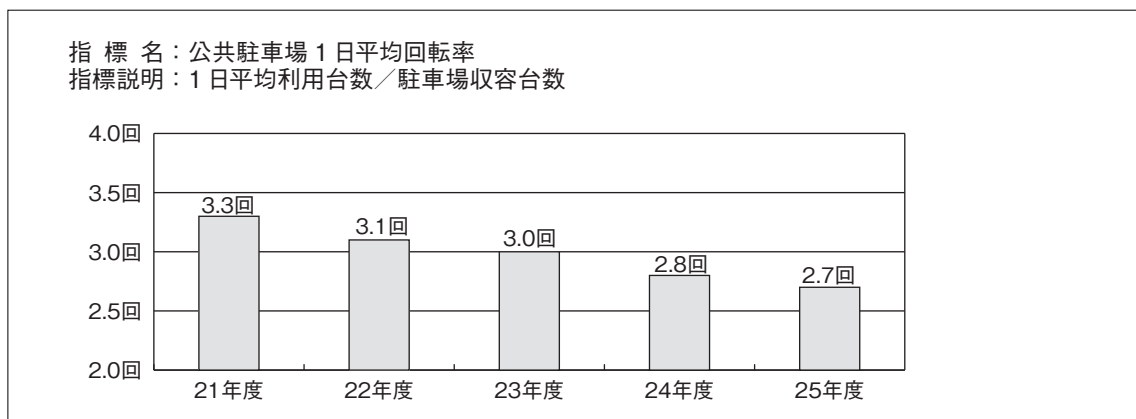
(1) 公共駐車場管理運営事業費 118,291,606 円

区 分	平成24年度	平成25年度
施設管理費	10,955,752円	9,121,606円
指定管理料	103,290,000	103,290,000
施設整備費	5,145,000	5,880,000

[利用状況]

区 分	平成24年度			平成25年度		
	年間 利用台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 駐車時間	年間 利用台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 駐車時間
駅前第1公共駐車場	200,236台	549台	76分	195,312台	535台	81分
駅前第2公共駐車場	245,467	673	96	236,465	648	103
松葉公園地下駐車場	72,773	199	64	66,609	182	67

[指 標]



地域下水道事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
地域下水道事業 <下水道整備と浸水対策の推進>	1,339,536,697	268,867,724	273,700,000	32,399,399	764,569,574

1 特定環境保全公共下水道建設事業費 85,300,000 円 (下水道整備課)

[総括]

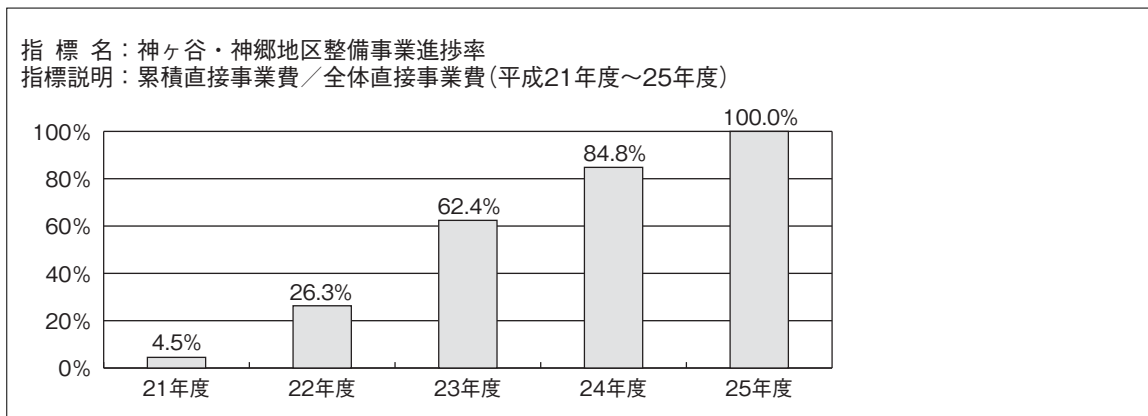
平成 21 年度から神ヶ谷・神郷地区整備事業を実施しており、25 年度は最終年度となった。排水戸数 219 戸、排水人口 677 人、排水面積 24.00ha で整備事業が完了した。

[実績及び成果]

(1) 神ヶ谷・神郷地区整備事業費 85,300,000 円

内 容	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
	管渠(φ150mm～φ200mm)延長2,792m			
舗装復旧	5,556㎡		舗装復旧	16,049㎡
水道管移設等	一式			

[指 標]



2 農業集落排水施設建設事業費 364,400,000 円 (下水道整備課)

[総括]

平成 20 年度に事業着手した高山地区整備事業において、25 年度は処理場建設及び管渠布設を実施し、一部供用を開始した。排水戸数 373 戸、排水人口 1,011 人、排水面積 41.18ha で整備事業の進捗率は 64.2% となった。今後も、国庫補助金等の収入確保とともに、工事コストの縮減に努めて、計画的な建設を進めていく。

[実績及び成果]

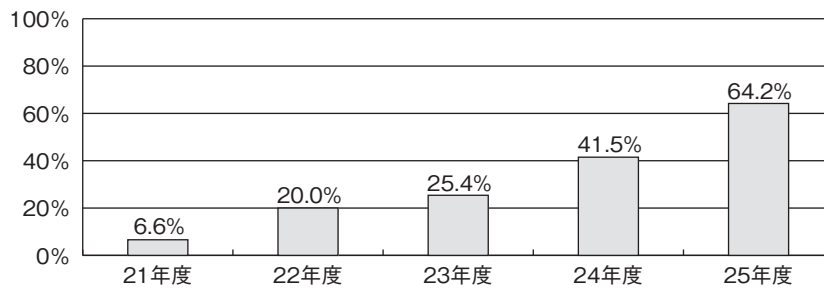
(1) 高山地区整備事業費 364,400,000 円

内 容	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
	処理場	土木	処理場	建築、機械、電気、場内整備
管渠(φ150mm～φ200mm)延長1,577m		管渠(φ150mm～φ200mm)延長1,074m		
水道管移設等	一式	水道管移設等	一式	

[指 標]

指 標 名：嵩山地区整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成20年度～28年度)



母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
母子寡婦福祉資金貸付事業 <ひとり親家庭等の自立支援>	16,404,806	0	0	10,151,800	6,253,006

1 母子寡婦福祉資金貸付事業 16,404,806 円 (子育て支援課)

[総括]

母子寡婦福祉資金貸付制度は、母子及び寡婦福祉法に基づいた貸付制度であり、母子福祉資金は配偶者のいない女子で現に20歳未満の児童を扶養している者等に対して、また、寡婦福祉資金は子が20歳以上になった、または子のいない、配偶者のない女子に対して、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、母子家庭及び寡婦の福祉を増進するために行う制度で、貸付金の種類としては修学資金、就学支度資金、修業資金等がある。

平成25年度の貸付は、24年度と比較して、7件減、金額では4,743,350円の減少となった。24年度と同様に高等学校授業料無償化等による修学資金の減などの影響により、減少傾向が続いている。今後も母子家庭の母等の経済的自立等を図るため、適正な貸付けを行っていく。

[実績及び成果]

(1) 母子寡婦福祉資金貸付事業 16,404,806 円

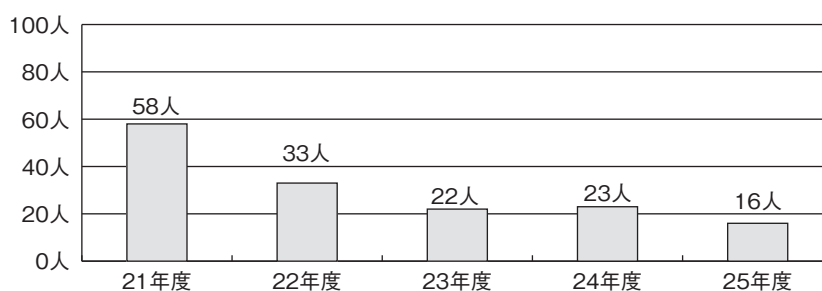
[貸付状況]

区 分	平成24年度	平成25年度
母子福祉資金貸付件数	23件	16件
寡婦福祉資金貸付件数	0	0
計	23	16
母子福祉資金貸付金額	14,895,150円	10,151,800円
寡婦福祉資金貸付金額	0	0
計	14,895,150	10,151,800

[指標]

指標名：母子寡婦福祉資金貸付事業借入者数

指標説明：〃



介護保険特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
介 護 保 険	19,187,741,675	6,707,365,487	0	5,213,487,084	7,266,889,104

1 介護保険事務費 253,958,475 円 (長寿介護課) <介護保険サービスの充実>

[総括]

要介護・要支援認定の新規申請件数は、前年度より減少したが、更新・変更申請を含めた全体での申請件数は増加しており、迅速な要介護認定業務が行えるよう、認定調査員を増員した。また、介護保険料の徴収については、滞納者に対して年5回の催告書の発送のほか、電話催告を実施するとともに、普通徴収者に対して口座振替の勧奨をし、収納率向上に努めた。今後も介護保険制度の軸となる介護認定と介護保険料の賦課徴収を適切に行う。

[実績及び成果]

[被保険者数]

区 分		平成24年度	平成25年度	比 較
第1号被保険者	65歳以上75歳未満	43,844人	46,436人	5.9%
	75歳以上	37,844	38,653	2.1
第2号被保険者		医療保険加入者	医療保険加入者	—

[申請受付件数]

区 分		平成24年度	平成25年度	比 較
新規申請		3,550件	3,377件	△ 4.9%
更新申請		8,768	8,800	0.4
変更申請		1,230	1,393	13.3
合計		13,548	13,570	0.2

(1) 介護認定事務費 235,686,966 円

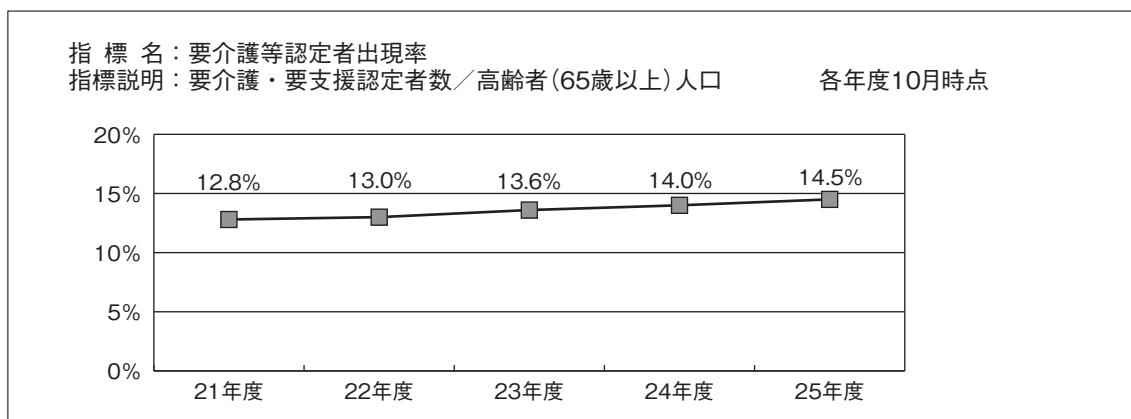
区 分		平成24年度	平成25年度	比 較
要介護等認定調査件数		13,312件	13,508件	1.5%
要介護等認定審査件数		13,023	13,454	3.3
要介護等認定状況	要支援1	1,717人	1,843人	7.3
	要支援2	1,857	1,996	7.5
	要介護1	1,974	2,069	4.8
	要介護2	1,987	2,124	6.9
	要介護3	1,475	1,553	5.3
	要介護4	1,605	1,654	3.1
	要介護5	1,274	1,280	0.5
	合計	11,889	12,519	5.3

(2) 保険料賦課徴収事務費 17,094,149 円

区 分		平成24年度	平成25年度	比 較
保険料賦課 年間実員	特別徴収	70,148人	73,282人	4.5%
	普通徴収	11,539	11,812	2.4
督促状発送件数		13,994件	14,631件	4.6
口座振替利用者数(普通徴収)		3,973人	3,944人	△ 0.7

(3) 介護保険事業所指定事務費 1,177,360 円

[指標]



2 介護保険給付事業費

18,127,157,133 円（長寿介護課）＜介護保険サービスの充実＞

[総括]

介護サービスの利用者は年々増加しており、平成 25 年度の介護保険給付費は前年度よりも約 8 億円の増となっている。今後も介護サービスの利用者は増加していくと予想されるが、適切に給付量を見込み、地域密着型サービスの施設整備や在宅介護高齢者の支援を図る。

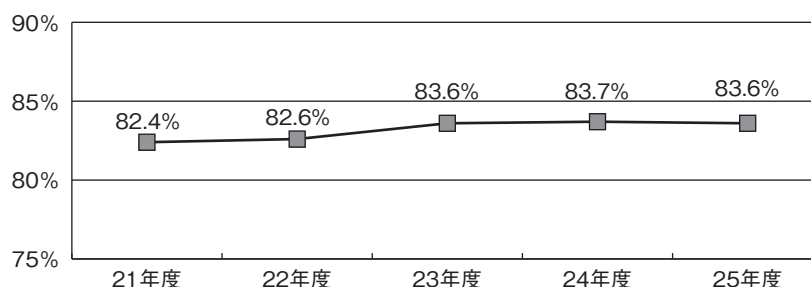
[実績及び成果]

区 分		平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	比 較
介護サービス 給付受給者数	在 宅	65,967人	69,615人	5.5%
	施 設	20,842	22,174	6.4
介護予防給付 受 給 者 数	在 宅	29,727	32,176	8.2
特 別 給 付 受 給 者 数		10,185	9,993	△ 1.9
審 査 支 払 手 数 料		276,187件	295,204件	6.9
高額サービス費 受 給 者 数	生活保護受給者等	1,662人	2,263人	36.2
	市民税世帯非課税者	21,395	22,866	6.9
	上 記 以 外 の 者	3,522	3,824	8.6
高額医療合算サービス受給者数		1,294	1,514	17.0
特定入所者介護サービス受給者数		16,962	18,297	7.9
介 護 保 険 給 付 事 業 費		17,320,210,902円	18,127,157,133円	4.7

- (1) 介護サービス給付事業費 15,942,036,897 円
- (2) 介護予防給付事業費 1,220,547,770 円
- (3) 特別給付事業費 83,432,467 円
- (4) 高額サービス事業費 285,132,854 円
- (5) 高額医療合算サービス事業費 39,489,955 円
- (6) 特定入所者介護サービス事業費 556,517,190 円

[指 標]

指 標 名：介護サービス利用率
 指標説明：月平均サービス利用者数／月平均要介護・要支援認定者数



3 介護予防事業費 47,600,383 円（長寿介護課）＜高齢者の介護予防・健康づくりの推進＞

[総 括]

二次予防事業対象者に対しては、通所型又は訪問型の介護予防サービスを行い、一般の高齢者に対しては、介護予防に関する知識の普及とともに、地域における自主的な認知症予防活動への支援及び参加をすすめた。今後も高齢者が自らの健康に関心を持ち、介護予防や健康づくりへの参加を増やすための普及啓発の促進を図る。

[実績及び成果]

(1) 通所型介護予防事業費 21,006,086 円

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
二次予防事業対象者	実人員	116人	実人員	102人
通所介護事業委託料	延人員	3,644	延人員	3,707

(2) 訪問型介護予防事業費 5,182,020 円

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
二次予防事業対象者	実人員	38人	実人員	35人
自立支援員派遣事業委託料	派遣回数	1,358回	派遣回数	1,373回
給食サービス事業費	実人員	39人	実人員	36人
	配食数	2,913食	配食数	2,836食

(3) 介護予防評価事業費 14,098,087 円

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
二次予防事業対象者	基本チェックリスト回収	17,548件	基本チェックリスト回収	20,028件
把握事業費	訪問件数	4,526	訪問件数	6,026

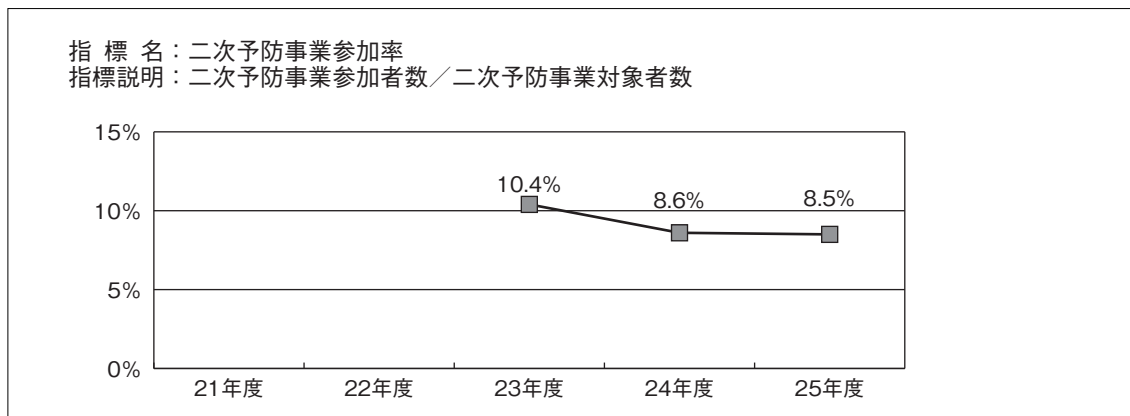
(4) 介護予防普及啓発事業費 6,047,961 円

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
二次予防教室	実施回数	15回	実施回数	15回
	延人員	1,743人	延人員	2,284人

(5) 地域介護予防活動支援事業費 1,266,229 円

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
みんなで認知症 予 防 活 動	実施校区数	2校区	実施校区数	2校区
	実施回数	221回	実施回数	52回
	延参加者数	1,975人	延参加者数	698人

[指 標]



※指標の見直しにより、平成 23 年度以降から掲載

4 包括的支援事業費 299,101,295 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

[総 括]

高齢者総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、総合相談、二次予防事業対象者への介護予防ケアマネジメント、地域団体や関係機関との連携による高齢者の支援を行った。今後も地域包括支援センターは地域の高齢者支援の拠点として、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの3職種が専門知識や技能を相互に活かし、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 266,667,742 円

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
地域包括支援センター 運 営 事 業 費	委託先	15施設	委託先	18施設
	介護予防ケアプラン作成	621件	介護予防ケアプラン作成	690件

(2) 総合相談支援事業費 24,887,108 円

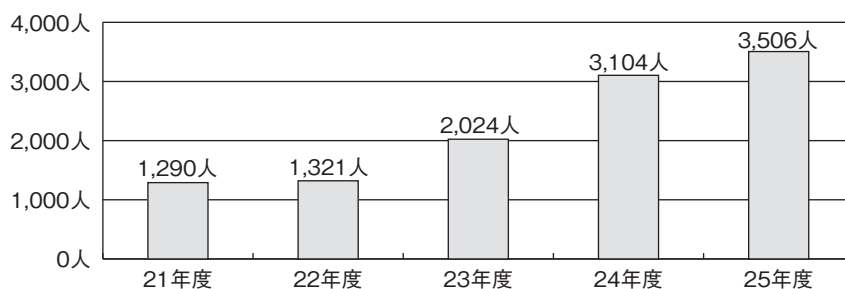
区 分	平成 2 4 年度		平成 2 5 年度	
高 齢 者 虐 待 防 止 ネットワーク運営委員会	委託先	1施設	委託先	1施設
	実施回数	2回	実施回数	2回

(3) 地域包括ケア推進事業費 7,546,445 円

区 分	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度
高齢者支え合い活動	—	利用件数 7件

[指 標]

指 標 名：二次予防事業対象者把握事業訪問調査実施者数
 指標説明：地域包括支援センターが二次予防事業対象者に訪問し、面談した人数



5 家族介護支援事業費

11,959,119 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

[総 括]

要介護認定者を在宅で介護する家族を支援するため、介護用品や慰労金の支給、認知症介護家族支援講座の開催等により精神的・経済的負担を軽減した。今後も事業の周知とともにサービスの利用促進を図る。

[実績及び成果]

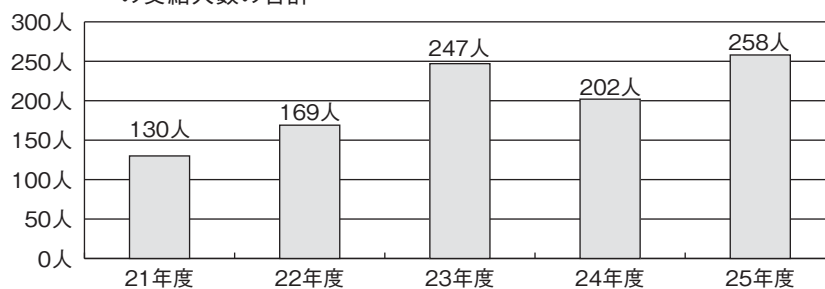
(1) 家族介護支援事業費

11,959,119 円

区 分	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度
家族介護用品の支給	113人	162人
認知症介護家族の支援	講座参加者数 86	講座参加者数 93
家族介護慰労金の支給	3	3

[指 標]

指 標 名：家族介護支援事業利用者数
 指標説明：介護家族用品の支給人数、認知症介護家族支援講座の参加人数、家族介護慰労金の支給人数の合計



※指標の見直しにより、平成 23 年度より認知症介護家族支援講座の参加者を含む

6 地域自立生活支援事業費

14,027,661 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

〔総括〕

要介護・要支援認定者をはじめとした支援を必要とする高齢者が、地域において安心して生活ができるよう、普段の生活を支援するサービスやシルバーハウジング入居者への生活相談、安否確認等を行った。また、認知症高齢者等の徘徊による事故を未然に防止するため、徘徊・見守りSOSネットワークによって見守り支援を行ったほか、高齢者の運動機能に関する医療と介護の情報連携により、介護サービス事業所において対象者に適切な機能訓練が提供できる体制の整備に努めた。今後も高齢者の地域における生活を維持・継続するため、サービスの利用促進を図る。

〔実績及び成果〕

(1) 高齢者生活支援事業費 4,029,040 円

区 分	平成24年度		平成25年度	
寝具乾燥事業委託料	実世帯	108世帯	実世帯	134世帯
	延回数	465回	延回数	550回
訪問理美容サービス事業費	実世帯	29世帯	実世帯	20世帯
	延回数	76回	延回数	57回
生活・介護支援サポーター養成事業費	受講修了者数	56人	受講修了者数	35人
	実施会場数	5会場	実施会場数	5会場
高齢者安心生活サポート事業費	サポーター登録者数	90人	サポーター登録者数	83人
	支援先世帯数	16世帯	支援先世帯数	15世帯
徘徊・見守りSOSネットワーク運営事業費	事前登録者数	140人	事前登録者数	191人
	発見活動依頼件数	4件	発見活動依頼件数	14件

(2) 生活援助員派遣事業費 9,275,473 円

区 分	平成24年度	平成25年度
対象世帯	66世帯	66世帯

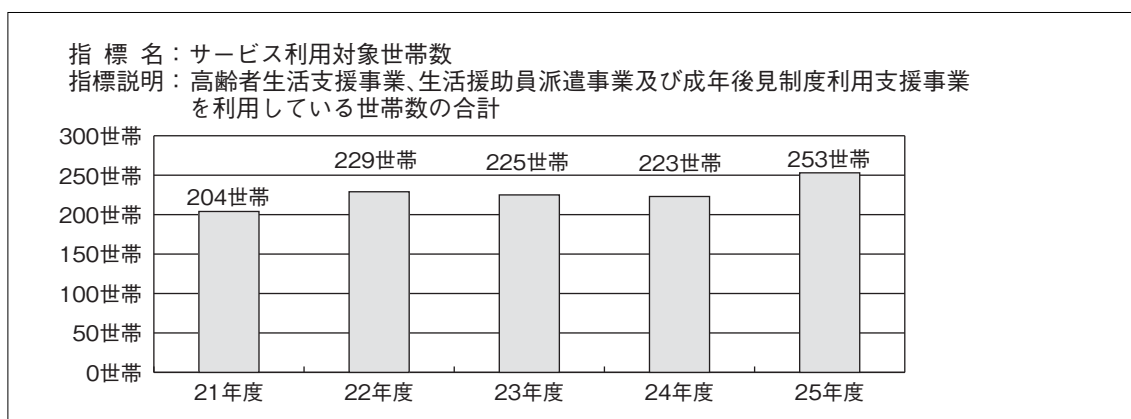
(3) 成年後見制度利用支援事業費 63,440 円

区 分	平成24年度	平成25年度
審判申立件数	4件	7件
報酬助成件数	1	2

(4) 運動機能向上事業費 659,708 円

区 分	平成24年度	平成25年度
情報連携ファイル配布数	608冊	803冊

[指 標]



※指標の見直しにより、平成22年度より高齢者安心生活サポート事業利用世帯を含む

7 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費 7,472,716円（長寿介護課）＜高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進＞

[総 括]

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、各種スポーツの大会開催や振興、シニアフェスティバル開催、生きがいづくりの事業委託を行い、高齢者の健康保持や社会参加の推進を図った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるように、高齢者のニーズに合った事業を実施し、参加の促進を図る。

[実績及び成果]

- (1) シルバースポーツ大会開催事業費 815,911円

区 分	平成24年度	平成25年度
参 加 人 員	400人	400人

- (2) シニアフェスティバル開催事業費 225,441円

区 分	平成24年度	平成25年度
参 加 人 員	400人	400人

- (3) シニアスポーツ振興事業費 687,960円

区 分	平成24年度	平成25年度
参 加 人 員	2,618人	2,667人

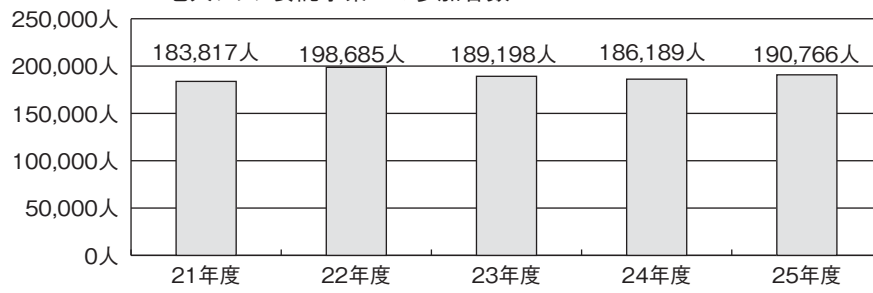
- (4) 老人クラブ委託事業費 5,743,404円

内 容		平成24年度		平成25年度	
健康で生きがいのある まちづくり推進事業費	清 掃 奉 仕	実施団体	65団体	実施団体	64団体
	趣 味 の 教 室 開 催 事 業 費	趣味の作品展開催	参加作品	272作品	参加作品
囲碁・将棋大会開催		参加人員	93人	参加人員	106人
趣味の教室開催		211教室	延10,525回	215教室	延10,702回
		参加人員	延168,625人	参加人員	延173,682人

[指 標]

指 標 名：高齢者の生きがいと健康づくり推進事業参加者数

指標説明：シルバースポーツ大会、シニアフェスティバル、シニアスポーツ振興事業及び
老人クラブ委託事業への参加者数



後期高齢者医療特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
後期高齢者医療 ＜公的医療保険の安定運営・疾病対策の推進＞	6,446,516,061	0	0	214,864,015	6,231,652,046

1 後期高齢者医療事務費 139,659,893 円 (国保年金課・健康増進課)

[総括]

平成25年度は、保険料未納者への滞納整理を強化し、催告や納付相談等を行って接触の機会を増やすとともに、必要に応じて滞納処分を行うなど収納率の向上に努めた。健康診査事業では、特定健康診査に合わせてイベント等啓発活動を実施し、健康診査の受診率の向上を図った。

[実績及び成果]

(1) 窓口事務費 37,284,427 円

被 保 険 者 数	平成24年度	平成25年度	比 較
		39,592人	40,479人

※豊橋市が後期高齢者医療被保険者証の引き渡しをしている数

(2) 徴収事務費 10,197,649 円

区 分		平成24年度	平成25年度	比 較
保険料徴収対象 年間実員	特別徴収	28,624人	29,861人	4.3%
	普通徴収	10,968	10,618	△ 3.2
督促状発送件数		5,538件	5,033件	△ 9.1
口座振替利用者数(普通徴収)		6,155人	6,057人	△ 1.6

(3) 健康診査事務費 92,177,817 円

区 分		平成24年度	平成25年度	比 較
対 象 者 数		38,755人	39,352人	1.5%
受 診 者 数		8,886	9,216	3.7

[指 標]

指 標 名：被保険者1人当たりの月受診件数
指 標 説 明：月平均受診件数／月平均被保険者数

